

平成 23 ('11) 年 9 月 25 日 (日) 発行

第 1 号



ろんてん 《論点》

【自由民主党長野県第三選挙区支部だより】

☆発行責任者：自由民主党長野県第三選挙区支部事務局

〒385-0051 長野県佐久市中込 2969-1 1 F

Tel 0267-78-5890

Fax 0267-78-5891

E-mail : mangetsu@valley.ne.jp

http://kiuchi.mdd.jp/

自由民主党長野県第三選挙区支部長に就任！

三月十一日（金）、十二日（土）に発生しました東日本大震災、ならびに長野県北部地震で被災し、今日まで不自由な生活を送られております皆様方に衷心よりお見舞い申し上げます。また、一刻も早い復旧・復興を願っています。（*自民党長野県連、ならびに各支部が窓口となりました被災地支援の募金、ならびに救済物資支援につきましては、多くの皆様にご協力をいただき、ありがとうございました！）

さて、本年四月いっぱいを持ちまして2期8年間務めました長野県議会議員「佐久市・北佐久郡区選出」を勇退しました。この間、真の県民益実現のため、県民の皆様の声に耳をしっかりと傾けながら、自民党県議団の一員として仕事をしてまいりました。お世話になりました皆様に心から感謝いたします。

ところで、五月からは新たに自由民主党長野県第三選挙区支部を立ち上げ、支部長（次期総選挙への立候補予定者）として活動を開始いたしました。早いもので四ヶ月ほど経過いたしました。日々激動する国政に左右されながら、また、千曲市から南佐久郡まで大きく広がった

地域に戸惑いながら、東奔西走、飛び回っております。『常在戦場』の心構えのもと、佐久市議会議員「2期」、長野県議会議員「2期」を務めた経験を生かし、地道な活動をいたしますので、叱咤激励、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

自由民主党長野県第三選挙区支部長

木内 均



安倍晋三・元内閣総理大臣から激励を受ける
木内均支部長 [7/25(月) 佐久市にて]

≪ 木内ひとし プロフィール ≫

- ☆昭和39(‘64)年8月3日、佐久市生まれの47歳。
- ☆佐久市立志賀小(現東小)、東中、長野県野沢北高校卒業。
 - ・高校まで野球を続けるも現実は厳しく2回戦敗退。
- ☆昭和63年3月、法政大学法学部政治学科卒業。
 - ・恩師内田健三先生[共同通信出身のジャーナリスト]との出会いで政治の道に進むことを決意!!
- ☆昭和63年から平成5年まで(助)松下政経塾在塾(9期生)。
 - ・地域活性化(まちづくり)について国内、米国で事例調査実施。
- ☆平成5年から12年まで 佐久市議会議員[2期]。
- ☆平成15年から23年まで 長野県議会議員[2期]。

『ろんてん』《論点》
 発刊にあたって

この度、『ろんてん』《論点》・自由民主党長野県第三選挙区支部だより『』を定期的に発行し、その中で国政や地域の課題を取り上げることといたしました。皆様の日ごろの疑問等をドシドシお寄せください!

国政の課題 1

民主党・野田佳彦政権
 発足にあたっての所感

九月二日(金)、民主党新代表の野田佳彦代議士を首班とする新内閣が発足しました。政権発足時の内閣支持率は、上々(菅内閣がひど過ぎたせいもありますが・・・)です。しかしながら、任命早々の鉢呂経済産業大臣が失言問題で引責辞任するなど波乱の船出となりました。

さて、野田氏は、松下政経塾出身者(第一期生)として初の内閣総理大臣となりました。後輩(私は第九期生)としては、誇りを感じるとともに松下幸之助翁が日本の

将来を憂えて設立した政経塾の原点や思いを国政の最高責任者として実践していただくよう先輩の活躍にエールを送ります。

しかしながら、十三日(火)開会となりました臨時国会では、震災の復興対策を含む第三次補正予算ほか重要課題が目白押しなのに当初、会期はわずか4日間(我が党の猛烈な抗議で会期延長となりましたが・・・)。国会運営は前途多難です。

ところで、野田総理は、政権交代3年目で早3人目の総理大臣です。税と社会保障の問題、財政再建、日米外交(特に沖縄県の米軍普天間基地移転問題)等々、喫緊の課題が山積しています。さらに一昨年総選挙のマニフェストが破綻していることも明らかになりました。このような厳しい環境下で、民主党内をまとめ上げ、野党と協議、協調しながら課題を解決していく使命があります。我が党も与党のあげ足をとるだけでなく、協力すべきはしっかり協力し、来るべき総選挙は、『ダメ比べ』(自民党がダメだから民主)、『今度は民主党がダメだから自民』の総選挙にならないようしっかり責任を果たしていくことが重要です!